

アゲハはさむさを のりこえられるか？

～アゲハチョウのかんさつとじっけん～



青木小学校2年 泊楓歌

《アゲハチョウのかんさつとじっけん》

1. きっかけ

(1) に木のミカンの木にいても虫がいた。

何の虫かわからなかったのていいてか
てみた。

アゲハチョウだとあがり、きろくした。

(2) 「サナギ」のひみつという本に

6500万年前のいん石しょうとつとき、
ちきゅうが壊れたたけい

サナギは生きのこったせいかいてある

本当にさむくても生きていけるか、
知りたくなつた。

2. もくてき

- (1) アゲハチョウのせいちょうをりきせる。
する。
- (2) サナギはさむくても生きていけるか、かくにんする。

3. どんないじけんをするか

- (1) アゲハチョウをケースの中でそだててかんさつする。
- (2) サナギをわいせうこに入れても生きていけるか、かくにんする。

4. ほうほう

いえのミカンの木から

アゲハチョウのよう虫かたまりをとってき
て、ケースの中でいそがせてた。

サナキになるまでは

1〜2日に1回ケースのそういをした。

ミカンのほ、ほかになくならないよ
うにエサをあげた。

5.

<じっけん 1>

① ほうほう

アケハチョウのせいちょうをかんさつし、しゃしんできました。

② よそう

本当にこんなイモ虫がアケハチョウになるのかなと思った。

サナギはうごかないじいしんをたべたよいのので、しんでしまったと思った。

③け、か



5月26日

たまごみつけ
たよ。



5月28日

なかに
黒くすけい
任虫かみた



5月29日

1か月の虫が
うまれた。

(ふか)

ミカンの葉は、はた
たせている



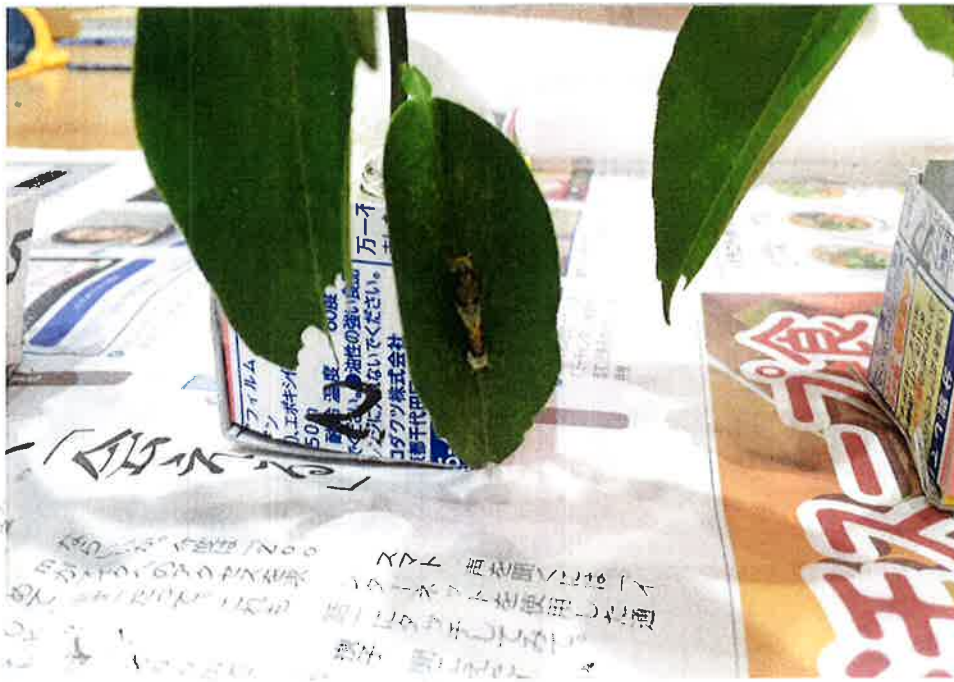
6月1日

6mmくらい
大きさにな
った。



6月5日

た、ひして
2かいよう虫に
な、た。
大きさは1.2mm
くらい。



6月6日

た、ひして
3かいよう虫に
な、た。
ちいさく
白で

鳥のうんちにはいる。



6月10日

たごひして

4かいぼう虫に
なつた。

鳥のうんち

に1こていいるけど、みどり色がある。



6月12日

たごひして

5かいぼう虫に
なつた。

1~4かいと
ちがひて。

みどり色になつた。まよふは黒いすじか
之本あつた。



6月15日

たくさんうごき
まわつておし、
べつべつおの
水ほいろんち
をした。

ケースの上のあみでいろごかたけくなり、
せうようになつた。



6月16日

たつひして
さつぷきになつた
しきいさひくし
とうごくとまが

あたけと、かとおなしいはしよてしと
していた。足とかのどかあからなした



6月25日

サナキの中に
くさいしまもよ
が²えた
そのあとすぐ

サナキの中から、チョウがでてきたら
さいしよははねかふる、にかふにか
だつたけど、日寺かえかけたたらちんと
えらいた。一時居るごうらいた。
にかにはなしたらすぐとんでいった。

アケツハ 日にち	1号	2号	3号	4号	5号
前よう	5/29	6/15	6/15	6/17	6/18
サナキ	5/30	6/16	6/16	6/18	6/19
うか	6/7	6/25	6/28	7/1	7/2
サナキから うかまでの にあう	8	9	12	13	13
チョウチの L431	ナミ アケツハ	ナミ アケツハ	70 アゲツハ	70 アケツハ	70 アケツハ


 ここまでの
 しゅんは2号のもの。

④ けっかからかんがえにこと

よう虫は鳥にたべられないうちに鳥のうんちに
ぎたいしている(4~5日、よう虫)。

5日、よう虫はみどり色だから
は、はにぎたいしている。

サナキはまかれはまそ、くりでかれはに
ぎたいして、ときからみをまもてる。

ナミアケツハはサナキになつてから

8~9日目であか(ちうちう)になつた。

クダアケツハはサナキになつてから

12~13日目であかした。

5日、よう虫はナミアケツハよりも

クダアケツハのほうが大きかった。4日、よう虫ま
で、はちか、い、か、あからなかつた。

<じょけん2>

①ほうぼう

ササギにならたら、れいぞうこにいった。
ササギになつてすぐか、つきぬいこにいった。
3しゅうかんごしに、れいぞうこからたして、かん
せつした。
れいぞうこでもわってみた。

②よそう

れいぞうこにいったもなかなかうかした
し。れいぞうこには、一匹ぐらいは
したなにかた、とおもつた。れいぞうこ
も一匹ぐらいはいきのこるかなとおもつた。
ほしんごしんてしまつた。

3) け,か れいぞうこ

れいぞうこに 入れたアケハ 日にち	A	C	E	G
前よう	7/4	7/6	7/8	7/10
サナキ	7/5	7/7	7/9	7/11
れいぞうこの中へ 入れた日	7/5	7/7	7/10	7/12
れいぞうこの外へ出した日 (れいぞうこがない日です)	7/26 (21日閉)	7/28 (21日閉)	7/31 (21日閉)	8/2 (21日閉)
うか	8/3	8/5	8/7	8/10
サナキからうかまでの 日です	29	29	29	30
外へ出してから うかまでの日です	8	8	7	8

せんがサナキアケハた,た。

れいとうこ

れいとうこに 日(2) "れ+ア"日	B	D	F
れいとうこ	7/5	7/8	7/9
れいとうこ	7/6	7/9	7/10
れいとうこに(れ)日	7/6	7/9	7/12
れいとうこの外(れ)日	7/27	7/30	8/2
うか	しよか, せ (8/16)	しよか, せ (8/16)	しよか, せ (8/16)

Aのサナギ



7月5日

サナギになった
日にこれいそいそ
にいれた。



8月3日

これいそいそから
たして8日目
ちやうちの^り色に
だんだんなって
きた。前日の夜はちやう
ちの^り色に
なっていた。
一時間後には
こうかした。



Cのサナギ



7月7日

サナギにな、た月に
丸い繭"うご"に包れた。



8月5日

ちゅうのいりにな、できた。
ちや色じうおしほ叫黒た、たけい黒
にたんたん な、できた



8月5日

前のろが 奇く世んの
 甘たきか つかした
 さいは は 羽が
 さいにさいにさいに
 けじたか いたん
 さいにさいにさいに
 くな、てきて一時
 翌後とさいにさいに
 とした羽にな
 った



④ げっかから かんがえたこと

ぶ、うは、サナキは、8~13月くらいでいうかお
け、れい、い、う、の、中、で、は、う、か、は、し、な、か、つ、た、
り、う、は、さ、む、い、し、こ、は、ん、か、な、い、か、ら
た、が、と、思、た、。

わたしたちはさむくてきょうふくがコート
をきているからあたたかいし、うは
サナキがようふくのかわきをしてい
る。うはからサナキのうちはれい、
う、の、中、で、も、し、た、か、い、で、あ、た、た、か、
く、な、る、ま、で、ま、
あ、サ、ナ、キ、か、ら、外、へ、で、こ、う、か、
ま、る、と、思、う、。
サ、ナ、キ、に、こ、れ、い、と、う、こ、は、
さ、む、す、き、で、サ、ナ、キ、
か、し、ん、で、い、し、お、た、と、思、う、。

・ さむい冬にはお花がすくなくないので
千草のこぼれはんの花のりみちがすくなくない。
これらの中でいはい、ちやうかゝる、中たしかりちやう
いして、これらの中でいはい、ちやうかゝる、中たしかりちやう
あせう。

6. まとめ

アケツハチヨウは、みかんのはらばらにたまごを
うんでいた。

たまごからふかして「かいけつ」で
うかした。

「サナキ」になるまでエサは、ミカンのはらば
らでうかした。

「サナキ」にならないうかすまでは

アケツハチヨウのしるいで「ちが」た。(8-13日)

「サナキ」はさむくてもうしゅうかんは生きた。

「サナキ」はさむくてもう「はら」かした。

7. かんそう

レポートをかくのがちよ、とおおかしかつた
でもしんをいするのしまたのしかつた。

ひょうをかくいたのもたのしかつた。

ひょうをかくしんにするとしらないう人もアケツハ
ちゅうのことをよくわかると思う。

アケツハちゅうのせわがたいへんたうた
うんちをかえるところかたいへんたうた
まい日、はいいいごまんとたべて
はいいうんちをしたからでもとくに5
れいよう虫が、はいいいるとうんち
をかえがたいへんたうたと思う。5れいよ
う虫は、はいいいごまんとたべ
いうんちをするから。

れいさうこしといんた、サキ「かぶ、しん
きせいとうれいからた
なせいかよらは「ほとんどしんご」しま
と思、たからすしかありえうた「と思、
いたから。

らいおんはアケハで「わるししたら、
カトリバ「エにアケハ「ゆるか「まけな
ほうほうをかんか「えること。

(しげんのあとにえた「てたあけ「は
10匹(11しゅうかい「カトリバ「エに「うら
しま、たから)

さんこうとよ

・ 小学館の図鑑NEO
イモシとケシ

・ サナキのひみつ ホクワ社